

袋井特産「クラウンメロン」 経営・生産基盤の強化



静岡県温室農業協同組合



クラウンメロン支所



組合員数（人）
（2019.7現在）

199人

出荷数（ケース）
（2018年夏調査）

約30万

浜松支所



アローマ

42人

約6万

磐田支所



アローマ

91人

約13万

静岡南支所



アローマ

74人

約12万

クラウンメロン支所が「浜松支所」を編入



2019.8.1編入

▶組合員数：241人

▶出荷数：約36万ケース





出荷量
生産者
120%増

県温室農協クラウンメロン支所

浜松支所編入へ調印

袋井

県温室農協浜松支所（浜松市浜北区）を編入合併する県温室農協クラウンメロン支所（袋井市）で21日、両支所の合併調印式が開かれた。1年間の移行期間を経て、2019年8月をめどに正式に合併する。

高齢化や後継者不足による生産者の減少などが各地で課題となっ

ている中、浜松支所組は生産量の拡大、浜松支所はクラウンメロンのブランドによる売り上げ増などの利点があるという。

現在同農協では、クラウンメロン支所はクラウンメロン、浜松と磐田、静岡の3支所はアロームメロンと異なるブランドを名乗っている。両者は栽培手法は同じだが、苗や検査

方法などに違いがあり、クラウンメロンと浜松の両支所は今後細部を詰める。

調印式ではクラウンメロン支所の中條文義支所長と浜松支所の御手洗平支所長がサインを交わした。



調印を交わした中條支所長（左）と御手洗支所長＝袋井市の県温室農協クラウンメロン支所

浜松産クラウンメロン初出荷

県内2割増産



初出荷される浜松市産のクラウンメロン。同市の生産者加わり、県内の生産量は約2割増える

31日午前6時半、同市浜北区の県温室農協同組合浜松支所

浜松市産「クラウンメロン」の出荷が31日、同市浜北区の県温室農協同組合浜松支所で始まった。産地生き残りを受け、市内の農家が作柄転換した。県内特産の最高級品種として知られるクラウンメロンの産地は浜松を含む5市町に広がった。8月1日から出荷量は30万軒から36万軒に増加する見通し。クラウンメロン支所の中條文義支所長は「統合を機に、若手生産者が増えるようブランド力をさらに高めたい」と話した。

を次々持ち込み、等級や形、糖度などの検査を受けた。今年は梅雨明けがずれ込んだが、栽培期間を長くするなどを調整して甘さが乗った果実に仕上げたという。

1土1・4時前後が中心で、初日は153軒（1軒6玉換算）を出荷した。8月1日から市場取引が始まる。生産者の減少と高齢

化を受け、浜松支所は1日付で同農協クラウンメロン支所（袋井市）に編入統合する。同じ最高級マスクメロンの「アロームメロン」を生産していたが、苗を植え替えるなど準備を進めてきた。

クラウンメロンの生産者は袋井、掛川、磐田、浜松市と森町の約240人に増え、年間出荷量は30万軒から36万軒に増加する見通し。クラウンメロン支所の中條文義支所長は「統合を機に、若手生産者が増えるようブランド力をさらに高めたい」と話した。